

平成22年第2回燕市議会定例会 一般質問

質 問 日		質 問 者	
6月11日(金)	午後	1	中 島 清 一 議員
		2	齋 藤 紀美江 議員
		3	本 多 了 一 議員
		4	田 辺 博 議員
14日(月)	午前	5	土 田 昇 議員
		6	金 子 正 子 議員
	午後	7	杣 木 義 男 議員
		8	山 崎 雅 男 議員
		9	渡 邊 広 宣 議員
		10	齋 藤 信 行 議員
15日(火)	午前	11	田 村 善 典 議員
		12	大 原 伊 一 議員
	午後	13	埴 豊 議員
		14	阿 部 健 二 議員
		15	平 原 一 吉 議員
		16	長 井 由喜雄 議員
16日(水)	午前	17	中 山 眞 二 議員
		18	中 島 義 和 議員
	午後	19	大 岩 勉 議員
		20	渡 邊 正 明 議員
		21	夕 ナ カ ・ キ ン 議員

平成22年第2回燕市議会定例会一般質問表

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1	中 島 清 一	<p>1. 市長の政治姿勢について</p> <p>市長が掲げた4つの重点政策について伺う。「燕市が日本一輝いているまちとして、全国から注目を集めるまちを理想像」とし、その実現のため4つの重点政策が掲げられた。取り組む政策の概要については「広報つばめ」で記載されているところであるが、更なる具体策について伺いたい。</p> <p>(1) 産業の振興策について。</p> <p>(2) 教育環境の整備について。</p> <p>(3) 医療・福祉の充実について。</p> <p>① 少子化対策の取り組みは。</p> <p>② 子ども手当で支給に対する市長の評価、考えは。</p> <p>③ 高齢者対策についての考えは。</p> <p>④ 救命救急センターの設置及び基幹病院のあり方について。</p> <p>(4) 行財政改革をどのように推し進めるのか。</p> <p>① 合併特例債事業についての考えは。</p> <p>② 経費を抑えるために、国が実施した「事業仕分け」、事業の見直しなどの仕分けが必要と考えるが、仕分け人として市民や学識者、議会の代表を入れて取り組む考えは。</p> <p>2. 教育問題について</p> <p>(1) 目まぐるしく変わる教育改革、来春から小学校で使われる教科書のページ数は、9年前の「ゆとり教科書」より約43%も増えるという。しかしながら、授業時間数の増加は10%程度で、教員からは「とてもこなせない」と懸念の声も上がっている。文部科学省は「教科書の内容をすべて教える必要はない」と「教科書観」の転換を図るが学校現場の混乱は必至と言われている。本市としての対応について伺う。</p> <p>① 不足する授業時間に対してはどのように対応するのか。全国の取り組みを見ると、土曜授業や土曜補習を実施している学校もあるが、本市としての考えは。</p> <p>② 教員からはどのような声、意見が寄せられているのか。</p> <p>(2) 学期制のありかたについての考えは。また、パブリックコメントで寄せられた意見はどのようなものであったか。</p> <p>(3) 4月20日に実施された全国学力テストについての評価、効果についてはどのように考えているか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
2	齋藤紀美江	<p>1. 吉田95号線について</p> <p>(1) 吉田95号線は新市長の政治的判断で変更が可能だったのではないかと。 ① 95号線について、さまざまな議論があったことをどう認識しておられるのか。 ② 吉田神田保育園の保育環境や、子どもたちへの影響をどう考えておられるのか。 ③ 平成20年12月議会、産業建設常任委員会で否決され、本会議でもやっと通った案件だということに対してどう考えられるか。</p> <p>2. 子育て・子育て支援について</p> <p>(1) 子育て・子育て環境の整備充実について ① 燕市は教育立市宣言をし、教育に力を入れていくことをアピールしている。人はさまざまな環境の中で育っていく。環境整備の考えは。 ② 学期制の統一を早急に進める必要があるのではないかと。 ③ 中高生の社会教育や社会活動を促すためにも、活動拠点の整備が必要と思うがどうか。旧燕工業高校跡地利用で、中高生プラザとして社会教育活動の拠点にできないか。 ④ 学校給食センターの今後のあり方についてどう思うか。吉田学校給食センターを吉田南小学校跡地へ建設してはどうか。</p> <p>(2) 女性が子育てをしながら働くことへの支援についてどう考えるか。 ① 子育てをしながら働き続けるには、病児・病後時保育が必要だと思うがどうか。 ② 児童館・学童クラブを充実整備していく必要があると思うがどうか。 ③ 保育園の老朽化について、早急な対策が必要と思うがどうか。</p>
3	本多了一	<p>1. 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 憲法を市行政に生かすことを基本にする姿勢はあるか。 (2) 市民が主人公の市政を貫くことができるか。</p> <p>2. 地場産業対策について</p> <p>(1) 家内労働者といわれる下請零細業者にどうやって光を当てるか。 (2) 企業誘致政策の変更はあり得るか。</p> <p>3. 農業行政について</p> <p>(1) 民主党の所得補償方式には4つの問題があると見るが、それに対する認識について問う。 (2) 大規模農家、養豚農家の経営が一段と厳しくなっている。現状認識とその背景についてどう考えるか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
3	本 多 了 一	<p>4. 後期高齢者医療制度の問題点について</p> <p>(1) 4月1日現在、該当者が10,064人おられるが、差別医療と保険料の負担を押し付けるこの制度の廃止を、すぐにやめるよう国に要望すべきと考えるが見解を求める。</p> <p>5. 国民健康保険について</p> <p>(1) 国民健康保険会計がピンチに立たされているのは、国が2007年度に市町村国保の総収入に占める国庫支出金を25%に下げた結果だ。国庫支出金の増額を求めることこそ国保会計を守る最大の課題ではないか。</p>
4	田 辺 博	<p>1. 鈴木市長は小林市政をどのように見ておられたか</p> <p>(1) 執行機関から政策集団に変え、高いレベルの質の仕事をしていくと言われていたが、例えば。</p> <p>2. 福祉について</p> <p>(1) 財政面からみても介護予防に鈴木市政あげて取り組むべきと思うが。</p> <p>(2) 特別養護老人ホーム待機者、去年8月現在で688名、要介護4、5の方102名の救護が急務ではないか。</p> <p>3. 教育について</p> <p>(1) 食育教育の燕市について。</p> <p>(2) 燕市の小・中学校で、薬物乱用防止教室を開いているか。今まで薬物で注意、または、補導された生徒がいたか。</p> <p>4. 公営住宅について</p> <p>(1) 行政が管理している公営住宅がよく管理されていると思うか。</p> <p>(2) 将来、建て替えは考えなければならないと思うが、その間地域住民に開放できないか。畑にするもよし、駐車場にするもよし、そして管理をしっかりしてもらうことにより、地域が明るくなると思うが。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
5	土 田 昇	<p>1. 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 5月1日付け「広報つばめ」就任あいさつの中で、「地方に自立と責任が求められるこれからの時代には、身の周りの問題は、まずは個人や家庭が解決にあたり、個人や家庭で解決できない問題は地域で協力して解決し、それでもできない問題は行政が解決するという、『自助』『共助』『公助』の基本的な役割分担の考え方に立って行政運営をする必要があります。」と明言されていますが、「自助」については大多数の市民の方々は、自分のことは自助努力して頑張っています。行政として責任がある部分について（国保、介護、後期高齢者医療制度、生活保護の問題等々、滞納者対策も含めて）市長の「自助」に対する基本的な認識について伺う。</p> <p>「共助」についても具体的に市長の見解について伺う。</p> <p>(2) 『「燕はひとつ」を合言葉に、わたしと一緒に新しい燕市をつくっていきましょう』と結んでいます。旧市、町の特例債事業（新市建設計画）の平準化が求められる中で、そのような認識に変わってくると思うが、現状の認識と見解について伺う。（昨年12月議会の答弁で、旧燕地区101億8,549万円、旧吉田地区30億5,180万円、旧分水地区35億2,652万円と答弁がありましたが、その点についても感想も含めて伺う。）</p> <p>2. ガス譲渡金の活用事業と吉田小学校の改築事業について</p> <p>(1) 旧吉田地区ガス事業譲渡清算金活用基金については、合併前の吉田町の区域における義務教育施設の整備事業費等に要する経費に充てると限定されていますし、合併のときは、合併特例債とガス譲渡金で吉田小学校を改築するという条件で、ガスについては売却して現在に至っています。</p> <p>当初の計画では、平成21年から22年にかけて31億8,700万円を実施するとしていましたが、平成20年2月の第一次調整で20億7,800万円に減額されて、さらに、平成21年2月の第二次調整で21億9,200万円を実施されました。結果は当初予算より9億9,400万円余とされました。平成24年度完成予定ですが、現在の学校施設では駐車場が不足していますし、施設内には給食センター及び吉田中央保育園があります。吉田中央保育園については耐震補強が必要とされていますし面積も狭く、以前から拡張が求められていました。</p> <p>今回の改築事業に併せて新しく用地を求めて、給食センター、学校田、保育園を新築すべきと考えますが、市長の見解について伺う。</p> <p>（財源はガス譲渡金で十分対応できると思うし、現在の燕市の借地は、これ以上増やさない立場で伺う。）</p> <p style="text-align: right;">（次ページへ続く）</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
5	土 田 昇	<p>3. 合併以後の検証について</p> <p>(1) 合併の条件として、国も県もサービスは高く、負担は軽いの原則で、合併について強気に推進して今日に至っていますが、今市民の中ではそのような状況ではないし、合併しなければよかった、合併は失敗だった、さらには合併前に戻せという声まで聞こえてきます。その原因として、合併特例債事業が平準化していないことが原因であると思うし、それと同時に、行政サービスが低下して各種補助金の削減と個人負担の増加が大きな要因と考えるが、市長の見解について伺う。(財政問題も含めて伺う。)</p> <p>(2) 合併以後の旧市、町の実態調査(合併して良くなった点、悪くなった点)すべきと思うが、市長の見解について伺う。</p>
6	金 子 正 子	<p>1. 子どものための学校給食</p> <p>(1) 安全で安心な学校給食を提供するためには、燕市内の給食センターと民間の施設、設備が老朽化している現状から、早急に施設整備、機械設備、使用する機器等の入れ替えも含めた改善を図ることが必要な事項として、早急に計画を策定し、必要な処置を講じていく必要があると思いますが、市長はどのような取り組みを考えておられるのか。</p> <p>(2) 学校給食調理等業務の民間委託先に対しての衛生管理の徹底や、責任管理体制及び、学校給食運営委員会に委託の検証を報告するシステムはどのようになっているのか。また、「食の安全安心」「学校との連携」「アレルギー対応」に対して、教育委員会の考え方がどのように実施されているのか。また、受託者の負担する経費は委託契約書に明記されているのか。</p> <p>2. 教育施設の充実や有効活用</p> <p>(1) 吉田小学校建設に当たり、子どもの安全安心のための駐車場の確保や、敷地内にある吉田中央保育園、吉田給食センターの移設は、市長はどのように考えておられるのか。</p> <p>(2) 旧吉田南小学校敷地の有効活用として、幼児教育、保育を必要としている子どもの受け入れに対応できるサービスの充実を図り、保育園の統廃合も含めての幼保一体化施設の検討や、吉田東栄町の自治会からの要望である会館建設の用地の有効活用はどのように考えられているのか。</p> <p>3. 予防ワクチンの公費助成</p> <p>(1) 子宮頸がんは、ウイルスの感染によるものから早期検診と、予防ワクチンの接種でほぼ100%防げるとのこと。また、乳幼児の細菌性髄膜炎の発症は、ヒブ菌が原因であることから、ワクチンの接種が一番の予防策であり、燕市においても子どもの命を守る視点から、是非、予防ワクチンの公費助成を強く求めたいと思いますが、市長はどのように考えておられるのか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
6	金子正子	<p>4. 子育て応援</p> <p>(1) 「父親は育児の当事者である」という男女共同参画の視点で盛り込んだ「父と子のメモリアルカード」を、母子手帳と一緒に配布する取り組みや、就学時健康診断や新入生入学説明会等に、共通に知っておいてもらいたい家庭教育等に関する基本的な事項を伝える「就学時等家庭教育講座」の資料を配布し、教育講座を実施されてはどうか。</p>
7	杉木義男	<p>1. 行財政改革について</p> <p>(1) 2度にわたる石油危機を経て、1980年代頃から財政悪化が問題となり、多くの自治体が直面し、アウトソーシングの検討導入を図ることが重要となりました。その後、再び未曾有の大きな不況課題を抱え、国と地方の長期債務は790兆円となり、国内総生産（GDP）対比は先進国の中では最低となり、国は地方に負担を求め、合併が強いられたものの財政は悪化をたどるばかりです。地方自治体は、公務員、議員定数の削減や給与まで減額対応しても、未だに国と地方財政は悪化し、歯止めがかからないのが現状であります。市長はどのようにとらえ、市民ニーズや市民サービスを落とすことなく対応されていくのか。</p> <p>(2) 今後も、アウトソーシングや公務員削減、給与、補助金の減額がさらに行われるのか。</p> <p>2. 商工観光振興について</p> <p>(1) 中小企業融資貸付金、昨年より25億6000万円増額により、中小企業の運転資金、設備資金、工業用地の取得費、新製品開発資金の融資を行い、緊急対策資金も行い、燕市の中小企業救済や雇用対策の改善にあたっておりますが、中小企業の状況と実態はどのようになっているのか。</p> <p>(2) 小規模事業所の販路開拓と商品化について、市はどのように支援していくのか。</p> <p>(3) 市が進めている工場見学ツアーと、地域振興や農村地域の活性化をどのように進めていくのか。</p> <p>3. 救命救急センターについて</p> <p>(1) 5ヶ市町村で審議されている救命救急センターを、県央地域に新設される計画はどこまで進められているのか。</p> <p>4. (仮) 116号吉田バイパスについて</p> <p>(1) 仮称116号吉田バイパスは、政権交代により保留となったようですが、国、県の動向と今後の方向性について。</p> <p>5. 雨水対策について</p> <p>(1) 分水新町付近の雨水対策は、以前から言われておる中、対応がされていないがいつ頃に行われるか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
8	山 崎 雅 男	<p>1. 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 市長の主要政策『燕はひとつ』新しい燕をつくろうの時代認識は異論ない。市長から見て燕市の現状認識とこれからの市政運営について伺う。</p> <p>(2) 副市長2人制に対しての捉え方と、どのような思いでいつ頃に選出する考えなのか。</p> <p>燕市の現状下では副市長2人制ではなく、1人で十分対応できるのでないか見解を伺う。また、人づくりをまちづくりの基本理念として、平成20年9月30日、教育立市を宣言してまだ年月が浅い中で、教育長不在は教育委員会としても不都合が生じるかと思われるが、どのように考えて副市長同様選出されるのか。</p> <p>(3) ①前市長からバトンを渡された都市計画決定による法線確定の直前で、ゼロベースで逆戻りをした国道116号吉田バイパス。地域の実情、必要性を考慮して事業促進に向けて国県にどのように訴えて行くのか。また、市長自身の認識はどうか。</p> <p>②新庁舎建設計画に対して市長としての捉え方はどうか。</p> <p>(4) 新市長の下での補正予算が市民にとってどうか。将来の燕市にとって資するものなのか、現時点最善なものなのか、普遍的な議論をすることが燕市政における肝要なことと考えるが、改めて補正予算に込められた市長の見解を伺う。</p> <p>2. 旧燕工業高校・吉田南小学校跡地の利活用について</p> <p>(1) 旧燕工業高校学校跡地施設は、恒久活用時の改修等には相当な額の経費がかかることにも考慮し、燕市をめぐる厳しい環境下で、将来の財政負担の軽減を図るためにも『そこに学校跡地施設があるから何かに使う』といった発想だけではなく、まちづくり課題に対応するため、用途を厳選していかなければならない。</p> <p>燕市のまちづくりの推進を図り、市民の貴重な財産を活用するために跡地の恒久的な活用方策を示すことが緊急の課題であるかと思うが、これまでの経緯と今後の方向性について、どのように鋭意検討されているのか。</p> <p>また、吉田南小学校跡地の利活用についてはどうか。</p> <p>3. 燕旧配水塔について</p> <p>(1) 平成21年度燕旧配水塔改修事業で、設計業務委託料375万9000円計上。平成21年度基礎補強設計を行い、平成22年度改修工事を着工予定としたが、これまでの経緯と、政策的事業の燕旧配水塔改修事業の今後の具体的計画はどうか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
8	山 崎 雅 男	<p>4. えちご燕物産館について</p> <p>(1) 燕市は経済・地域振興、情報発信強化、燕そして地場産の物産販路拡大を目指し、両国・町田店に「えちご燕物産館」がオープンしたが、次のことについて伺う。</p> <p>①国の緊急雇用対策を受けた『新潟県ふるさと雇用再生特別事業』を活用したアンテナショップ。事業費は2,957万4,000円で開設期間は平成23年までとなっているかと思うが、その後の対応はどのように考え、えちご燕物産館を通して将来的な位置付けをどのように確立していくのか。</p> <p>②えちご燕物産館に対して、両国・町田店、都会での反響はどのようなのか。また、えちご燕物産館を通して燕物産品の受注等の問い合わせはどうか。</p> <p>③燕物産品以外にも燕市を紹介する燕市産業史料館、燕市分水良寛史料館、信濃川大河津資料館、燕・三条夢創紀行、観光ガイド等々、パンフレットが所狭しと置いてあるが客の反応はどうか。</p> <p>燕市は教育立市を宣言。人材育成、教育に深く関わりある長善館史料館、戦後を代表する日本画家の一人横山操氏、1964年東京オリンピックポスター、NTTマーク等々、燕市が誇れる世界的なグラフィックデザイナー亀倉雄策の資料が置かれていないのはどういうことなのか。</p>
9	渡 邊 広 宣	<p>1. 新市長の市政の取り組みについて</p> <p>(1) 合併丸4年が過ぎ、5年目を迎えて市長はこの4年間をどう検証し評価しているのか。</p> <p>喫緊の課題が山積する燕市にとって、まず、新庁舎建設、保育園、幼稚園、小中学校の現状をどう把握・認識しているか。また、統廃合についてどう考えるか。</p> <p>(2) 就任の挨拶の中で、4つの柱(1)産業の振興(2)教育環境の整備(3)医療・福祉の充実(4)行財政政策の推進を謳っているが、具体的目標、それを達成するための行程表、行動指針はどうするのか伺う。</p> <p>(3)「燕はひとつ」を合い言葉に、新しい燕市をつくるとは具体的にどうするのか。</p> <p>2. 義務教育について</p> <p>(1) 教育基本法第4条第2項では、「国または地方公共団体の設置する学校における義務教育については、授業料はこれを徴収しない」とあるが、このときの授業料とは何を指すのか。また、その範囲はどのようなのか。</p> <p>(2) 学校教育法で第21条「教科用図書」を定めている。教科用図書とは、また、教材として使用する参考図書との違いはどのように理解すべきか伺う。</p> <p>3. 建学の精神を市政に反映、生かすべきでは</p> <p>(1) 早稲田大学の建学の精神は「学問の独立」「進取の精神」「地球市民の育成」であり、学問の独立は「在野精神」「反骨の精神」と結び合うといわれる。市長が目指す「燕市のまちづくり」で謳われていることと基本的に相通じる点があると思うが、市長の基本方針を伺う。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
10	齋藤 信行	<p>1. 公共施設の今後について</p> <p>(1) ホームページによりますと、燕市全地区には公共施設が 192 掲載されています。今後、各施設の必要性、または、新しい施設が出来ることにより、その後の利用について、何年後はこうなるかなどの計画を立てる話をする必要があるのではないかと。庁舎、保育園、幼稚園、学校など、鈴木市長はどのような考えでいるのかお伺いしたい。</p> <p>2. 大河津分水について</p> <p>(1) 鈴木市長にはまず最初に、大河津分水路に対する認識を伺い、それから今後、可動堰（旧）の保存についてと、大河津分水路工事の石碑の青山士さんの「萬象に天意を覺る者は幸いなり、人類の為め國の為め」と書いてありますが、その言葉の意味合いと認識についてお伺いしたい。</p> <p>3. 坂本竜馬について</p> <p>(1) 鈴木市長は、尊敬する人物として坂本竜馬をあげていますが、私は日本は一つということで、坂本竜馬が行った行動は、鈴木市長が言っている燕は一つとダブリますが考えをお伺いしたい。</p>
11	田村 善典	<p>1. 市政運営について</p> <p>燕はひとつ、子どもたちが夢と誇りを持てる日本一輝いているまち・燕市を作り、地域間競争を勝ち抜こうと語られておられますが、「同床同夢」全市民が燕という同じ布団で同じ夢を抱くことは、燕市民の一体感醸成のため、常に市長の言葉として発していただきたいと思えます。</p> <p>(1) それでは、日本一輝いているまちづくりにおける難問は、人口減少問題と思えますが、市長はどのように捉えておられますか。</p> <p>燕市すこやか赤ちゃん誕生祝い金等支給事業も今年の12月31日を以て、廃止と決定しておりますが、この支給を受けた子供たちが20年後、燕市に在籍しているのかいないのか。その成否が、日本一輝いているまちづくりの評価と思えます。</p> <p>せめて労働人口（若者）の流出を抑えるためには、</p> <p>①雇用の確保・職場の確保・仕事の確保、いわゆる市長の得意とする産業振興策と思うが。</p> <p>②遊びの場・買い物の場の確保、いわゆる純に燕市の中で拠点となるのは、吉田駅周辺と想っていたが、駅前側のシャッター商店の増加、挙げ句、駅裏の吉田庁舎までが西太田に移転することになるが、この衰退の流れをどう考え、どう対処されるつもりか。</p> <p>③医療体制の確保、今後の県立吉田病院の存続を含めて、救命救急センター併設の県央基幹病院についてどのように考えておられるのか。</p> <p style="text-align: right;">（次ページへ続く）</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1 1	田 村 善 典	<p>④生活に直結する諸問題の速やかな対処・解決の必要性。日本が豊かになった時代に育った世代ほど待たされることは嫌いである。苦情の一つ・公園の遊具はまだ直らないのか。</p> <p>(2) 5月28日の定例記者会見について</p> <p>①えちご燕物産館町田店特別企画「下取りフェア」開催との発表がありました。磨き屋一番館の県央マイスターの方にご協力願って、磨き実演販売も加えたらいかがでしょうか。買い手本人が手で触り、目で確認できる、これほど信頼できる販売方法はないと思います。</p> <p>このアンテナショップ、3月13日オープンに先がけ、2月15日鴻鵠クラブで行政視察させていただきました。市長が町田市と産業連携を図るとの発表も大いに結構なことと思います。</p> <p>②建設工事に関する入札要件等を一部改正との発表も、地元業者から要望されていたことであり、賛成ですが、改正の主な内容4番についてですが、「燕市発注の建設工事において、下請負や建設資材の調達等で市内業者が優先して活用されるように一層の促進を図ります。」とあります。3月議会でもお願いしたことですが、なぜ市内業者に最低20～30%ぐらいの仕事の発注を入札要件に入れないのか。</p> <p>(3) 平成20年10月アメリカ発の金融不況以降、仕事が無いということを目にした。要望されるので、これからは電気自動車の時代になる。燕市は金属加工の街であり、仕事がほしいので、設計・製造の方に講師をお願いし、21年11月電気自動車に関する講演会が開かれました。この後の第一歩はだれが主体になるのか。各企業が勝手にやればよいのか。各関係団体なのか。行政なのか。</p>
1 2	大 原 伊 一	<p>1. 本市の財政状況を、新市長はどのように認識しているのか</p> <p>(1) 実質単年度収支が19年度決算で5億9,700万円、20年度決算で5億2,700万円と2年連続で赤字、経常収支比率は、93.0%で19年度より2.1ポイント改善したものの、実質公債費比率が0.2ポイント上昇し19.0となるなど、依然厳しい財政運営であると考え、市長はどのような認識でおられるのか、今後の財政運営に対する考え方をお聞かせ願いたい。</p> <p>(2) 21年度決算の実質単年度収支・経常収支比率・実質公債費比率の決算見込みと、財政調整基金の年度末残高の速報値がお分かりでしたらお聞かせ願いたい。</p> <p>(3) 老朽化した公共施設の統廃合、少子化に伴う幼保一元化、市内15校の小学校運営のあり方、補助金、委託料の見直しなど、行財政改革の推進は避けて通れないと考えるが、市長の方針はいつ頃を目途に示されるのか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
12	大原 伊一	<p>2. 市内企業の景況について</p> <p>(1) ギリシャの財政危機に端を発したユーロへの信用不安は鎮まっておらず、財政状態が悪いスペインやポルトガル、イタリアなどへの飛び火が懸念されている。各政府は、緊縮策を次々に打ち出し、信用不安払拭に必死だが、景気後退も懸念されている。</p> <p>3月の有効求人倍率は、三条職安 0.39、巻職安 0.29 と依然と回復傾向を示しておらず、厳しい実態が続いているものと思われるが、本市の市内企業の景況の実態はどのようなのか。また、廃業件数が増えていると聞くがどの程度か。</p> <p>3. 農業政策について</p> <p>(1) 戸別所得補償制度の受け付けが始まったが、問題点は出ていないのか。</p> <p>(2) 特別栽培農産物の米栽培について、新潟市（JA越後中央管内を除く）、三条市共に転作カウントの緩和措置が10%なのに、なぜ燕市だけが4%なのか。</p> <p>消費者が求めている安心安全志向と、JAも進めている減農薬・減化学肥料50%以上の栽培拡大に足かせとなっていると考えるがいかがか。</p>
13	埜 豊	<p>1. 財政問題について</p> <p>(1) 世界的規模での国際的金融危機が再燃し、回復しかけた景気に冷や水を浴びせられ、来年度以降、無秩序な国債発行にブレーキが掛からざるを得ない状況であり、合併特例による交付税の優遇措置もあと5年の現在、政府頼みの財政運営から自立する燕市の道筋について。</p> <p>2. 行財政改革について</p> <p>(1) 自立する自治体を目指すために、避けて通れない公共施設の統廃合をいかに目指すか。合併特例債の起債期限を考えたとき、タイムスケジュールをどう設定するのか。</p> <p>退職者の補充も十分満たさず、不足する人員を臨時職員に置き換えることによる人件費削減を唯一の行革と位置づけてきた、過去の燕市からどのように舵をきるのか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
14	阿 部 健 二	<p>1. シビルミニマムの観点からの新庁舎建設について</p> <p>シビルミニмумとは、市民が安全・健康・快適・能率的な生活を営むうえに地域社会が当然備えていなければならない最低限の基準をさすと言われているが、現に利用者からは何ら不満のない吉田庁舎を「貸すか売るか」して、今後、ことに吉田地区の市民に不便を強いる新庁舎建設が、どう考えても、シビルミニмумいわゆる市が住民のために備えなければならない最低限の生活環境基準からは、かけ離れて見えてならない。ましてや、去年の春には600人だった“特養待ち”が1年後の今、664人にまで増えている現実にも目もくれずに「新庁舎建設が最優先事業」としてきたことについては何をか況やである。</p> <p>(1) 7割引きのバーゲンセール（言いかえれば合併特例債バブル）に浮かれて、例えば新庁舎建設に16億円もの借金をし、その返済のために、来年には730人になっているかも知れない“特養待ち”を放置することがシビルミニмумにかなっているとは思えないのだが…。</p> <p>(2) 合併前・合併後を問わず、シビルミニмумからの視点が、ないがしろにされてきたがゆえに、新庁舎建設といい、吉田95号線の道路整備といい、市民の混乱を招いているように思えるのだが…。</p> <p>(3) 今後の鈴木市政には、先ずは、市民が安全・健康・快適・能率的な生活を営むうえに地域社会が当然備えていなければならない最低限の基準、いわゆる、シビルミニмумの明確化と、その基準の市民への周知、さらに、それを満たさんがための施策を望みたいのであるが…。</p> <p>2. 少子高齢化社会にどう対処するか</p> <p>日本の65歳以上の人口の総人口に占める割合が7%を超えて高齢化社会に突入したのが1970年（昭和45）であったが（あれから40年）高齢化率14%を超えた高齢社会をあっという間に経過して、今や高齢化率21%を超えた超高齢化社会と言われている。</p> <p>高齢化率が7%を超えてから、その倍の14%に達するまでの高齢化速度、いわゆる“倍化年数”でみると、フランスがなんと115年、スウェーデンが85年…比較的短いイギリスでも47年、ドイツでも40年かかったのに対し、日本は1970年（昭和45年）に7%を超えてから倍の14%に達したのが1994年（平成6年）で、その間（かん）わずか24年という“めまぎらしさ”である。</p> <p>ゆえに、行政の高齢社会や超高齢化社会への対応の遅れをとやかく言うつもりはないが、とにかく「高齢化はヨロシクナイもの」という風潮を、行政が、その対応の遅れへの責任のがれに発信しているやに感じられることがいささか気になる。</p> <p>世界に類をみない日本の高齢化進行の急激さは、偶然に同時進行してきた少子化によるものでもあり、ひとえに高齢者たちの責任ではないし、本来ならまわりから長寿を喜ばれながら、かつ、不安のない老後を過ごせて当然なはずなのに「高齢化は非高齢者（若者）の経済負担と介護負担を増やす」などという慈悲のない言葉を突きつけられて、肩身のせまい思いをさせられているのが、昨今の高齢者のように思えてならないのである。</p> <p style="text-align: right;">（次ページへ続く）</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
14	阿 部 健 二	<p>(1) 「高齢化はヨロシクナイもの」などと結論づけて、超高齢化社会への対応に尻ごみしている行政に言いたいことは「高齢化は止める必要はないが少子化は止める必要がある」ということである。して、優先すべき少子化対策は“子育てコストの軽減”だと思っただが…。</p> <p>(2) 労働人口の減少で「非高齢者の経済負担と介護負担を増やす」ことはまぎれもない事実であり、その緩和策としてなすべきは技術革新・生産性の向上・成長産業への参入などによって地場の産業構造を変えることを最終目的とし、当面、若者や女性、ことに高齢者の就業を促進することだと思っただが…。</p> <p>(3) ところで、13年前、消費税を3%から5%に上げるとき、橋本首相は「迫りくる高齢社会のために」を唱えたことが報道されていたはずなのに、そして、その消費税の3%近くが交付税の原資などとして各自治体に還元されているはずなのに超高齢化社会への施策以外のどこかへ消えてしまっている。ことさら不思議に思うのが、下水道会計での消費税還付金なのだが…。</p> <p>3. 福祉施設のサテライト化と旧商店街の活性化について</p> <p>燕福社会が、仲町の燕市商工会議所跡地にショートステイなどの施設設置を計画をしていることが、いかに旧商店街の活性化に役立つであろうことについては郊外型開発や核家族化が進み、若者家族がこぞって郊外に移り住んだ結果、多くのお年寄りが旧市街地に取り残されたことに着目し、そのお年寄りを顧客とするための目玉として、整体や針灸（しんきゅう）の医院を誘致した九州・博多の上川端町商店街の成功例をあげて、何度もくり返し述べてきたところである。</p> <p>くしくも今回作成された『燕市・都市計画マスタープラン』では「まちづくりの理念と目指すべき将来像」として「コンパクトで暮らしやすい都市の実現」への軸方向の転向をうたっており、もともと、コンパクトシティの理念は、除雪を要する道路が総延長1,300 kmにもおよび、国道の距離で青森市から岡山市に達すると言われる青森市から発信されたもので、郊外型開発が除雪費だけでなく、上下水道の整備や都市を運営する経費がふくらむことへの反省から生まれたものと聞くが、国でも、これからのまちづくりの方向としては、郊外型開発よりも旧市街地に公的機関を設置することを勧めているところである。</p> <p>その意味からも、燕福社会が、燕市商工会議所跡地にショートステイなどを建てることを歓迎すべきで、市の積極的な協力を望みたいものである。</p> <p>また、燕福社会はその位置を「まちの駅」にすることを望んでいるが、「まちの駅」にできる、できないは別としても、燕福社会が企画している障害のある人たちが“夢工場つばめ”で作ったパンを販売する店、近所のお年寄りや登下校の子どもたちが気軽に立ち寄れる場所づくりには、高齢者・子ども、障がい者などを幅広く受け入れて、一緒にケアする“共生型介護”の観点からも、市が積極的に協力することを望みたいものである。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
14	阿 部 健 二	<p>(1) 3月議会では、燕福祉会の施設に隣接する土地に、市営の高齢者向け集合住宅を作ることを問うてみたが、色よい返事がなかった。</p> <p>しかし、「買物に便利で、いざというとき身近な介護施設が使える、そんな所で安心して暮らしたい」という声は今もある。</p> <p>燕福祉会からも、近くに高齢者向け集合住宅があれば、ヘルプサービスが容易になると歓迎されている。</p> <p>隣接する複数のかたからは、協力をいとわないという声もいただいている。</p> <p>(2) もし、市営住宅を“高齢者向け”に特化することに問題があるのなら、北欧のコレクティブハウスのような「ゆるやかに共同で住む」集合住宅は、いかがか…。</p> <p>4. 教育立市宣言と学校図書館と燕市文化会館の自主事業について</p> <p>(教育立市宣言)</p> <p>教育は、心豊かな人格の形成を目指して、一人ひとりの個性や能力を活かし、主体的に生きる人間を育てるために欠くことのできないものです。</p> <p>燕市は、人をまちづくりの原点として市民とともに豊かな人間性と創造性を備え、郷土に愛着をもった人づくりを推進するため、ここに「教育立市」を宣言します。</p> <p>そして、このまちで子どもを育てたい、教育に携わりたいと人々が集う燕市を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 すべての子どもが必要な保育や教育を受ける環境づくりに努め、子どもの発達や学びの連続性を大切にし、心身の調和のとれた子どもを育てていきます。 一 市民と一体となった教育を展開することにより、自分の持てる力を活かそうとする意欲や郷土を愛する心を培い、人間性豊かで生きる力のみなぎる子どもを育てていきます。 一 市民が目指す自己実現に向けて、いつでも、どこでも、だれでもが学ぶことのできる場や機会の整備、充実に努めます。(平成20年9月29日宣言) <p>以上が、燕市教育立市宣言である。</p> <p>(1) 燕中学校の竣工式に出たとき、式典が終わってから「きどの(貴殿)」を調べたくて図書室へ行ったが、カギがかかっている入れない。入ってみたら、その狭さにビックリ。辞書は広辞苑が1冊だけ…。</p> <p>(2) (これは3月議会でも問うたことだが) 過去、燕市文化会館自主事業として、少なくとも年1回は催されてきたクラシック分野の事業をゼロにした意図は…。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
15	平 原 一 吉	<p>1. 市長の市政に取り組む基本理念を問う (1) 市長就任から今日まで議会に所信表明が行われなかった理由は何か。</p> <p>2. 人事案件について (1) 特別職（副市長、教育長）の選任は現行どおりか。 ①私の提言として、副市長制をやめ、部長制を充実させたほうが良いと考えられないか。 ②副市長制をとるなら部長職を廃止したほうが良いと思うが、市長の考えを問う。 ③教育長の選任は、教育関係者でなく行政経験者のほうが新鮮な感覚が生まれると思うが、市長の考えを問う。</p> <p>3. 感染症対策について (1) 市は、子宮頸がん対策をどのように考えているか。 ①私の提言として、今年度から10歳～12歳までの子どもに無料でワクチンの摂取を行ったほうが良いと思うが。 ②学校内で集団で行ったほうが受けやすいのではないか。</p>
16	長 井 由 喜 雄	<p>1. 就任あいさつで示したものの具体策について (1) 市長が就任あいさつで示したものの具体策について 市長は広報やホームページの「就任のあいさつ」で「燕市の未来像」を示し、「子どもたちが夢と誇りを持てる『日本一輝いているまち』」として「全国からあこがれと羨望をもって注目される燕市を目指します」と述べ、4つの重点政策に取り組むことを宣言した。 この中で、第2に掲げた「教育立市宣言の具体化」の中身は何か。また第3に「医療・福祉の充実」をあげているが、「子どもから高齢者まで笑顔で暮らせるまちづくり」の中身は何か。</p> <p>2. 子どもの医療費助成拡充について (1) 子どもの医療費助成は入・通院とも中学校卒業までに拡大を 子どもの医療費助成年齢が高いか低いかは、「暮らしやすいまち」であるかどうかの大きなバロメーターとなっているのではないか。 燕市は3市町による合併が決まってから、吉田、分水の通院助成年齢が燕市に合わせて若干拡充され、平成17年4月には入院が就学前まで、通院は5歳未満までとなった。当時は45市町村あったが、刈羽村の入通院とも中学卒業までを筆頭に、約半数が入通院とも就学前とし、燕、吉田、分水はおおよそ中位に位置していた。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
16	長井由喜雄	<p>その後、平成18年には3分の2の自治体が燕市を含め入通院とも「就学前まで」となり、県内ではごく普通の助成年齢の自治体となった。平成20年に新潟県が入院助成年齢を小学校卒業までに拡大した頃から、他の自治体は通院助成年齢の拡大を進める傾向を示し、昨年の10月にさらに県が通院助成で3子以上世帯に限り小学校3年生まで拡大したが、これに合わせて公平な子育て支援と助成年齢の拡充に進む自治体が一気に増え、現在の燕市と同じ就学前までを原則として3子以上世帯のみ小学校3年生までとしたところは13自治体となった。</p> <p>新潟県は今年度、9月から3子以上世帯の小学校卒業までの拡大を決め、燕市も今議会に同様の条例改正案を出している。</p> <p>私は、合併した現燕市でも小学校卒業まで全員が対象となる通院助成年齢拡大を小林前市長に求めてきたが、すこやか赤ちゃん誕生祝い金事業がひとつのネックとなって進まなかったと理解している。また、市民は子どもの数による市の支援策の不公平さに大きな不満も持っている。鈴木市長は「医療・福祉の充実」を明確に市民に示したが、9月を機に公平な子育て支援を進め、入通院とも中学卒業までへの拡大を進めてほしいと考えるがいかがか。</p> <p>年齢による通院回数は一般的に子どもの場合、小学校に入学した途端に少なくなるといわれ、中学校に入学後はさらに回数が少なくなる傾向にある。燕市もこの傾向は同様と考えているが、燕市の受診と医療費についてはどうか。</p> <p>3. 介護保険の待機者対策について</p> <p>(1) 特別養護老人ホームの建設について</p> <p>燕市の施設入所希望者（待機者）は664人といわれているが、第4期計画の中では特別養護老人ホーム建設は示されていない。</p> <p>まず、21年度以降の10月、4月の認定者数はどうか。認定者数の約2割が施設待機者という現状から、特別養護老人ホームや老人保健施設などの入所施設の建設は高齢化率が高まり高齢者人口が増す中では入所施設の建設は、保険者として主体的に計画を持つべきではないかと考えるがいかがか。</p> <p>市が現在計画している小規模多機能型居宅介護施設は運営する上で非常に厳しいといわれている。燕市として独自に支援策も持つことが必要ではないか。</p> <p>認知症などの場合、介護者に暴言を吐くなど、居宅介護の場合は介護者に昼夜を問わず大きな負担となるケースや、介護施設での対応には限界があるケースもあるのではないかと。介護施設ばかりでなく病院の充実も介護保険運営では必要な課題となるのではないかとと思うが、県央地域や県内の施設状況はどうか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
17	中山 真 二	<p>1. 庁舎について</p> <p>(1) 市長は、庁舎について「無駄を省いたスリムな庁舎」を目指していると推察しているが、そうであれば私は同感である。次の点についての考え方、またどのような点を縮減していくのか聞きたい。</p> <p>①まちの燕側、ふれあいの縁側、にぎわいの宴側、協働の援側、まちづくり広場など、業務とあまり関係ない施設の必要性について。</p> <p>②エコボイドは必要か、また大きすぎないか。</p> <p>③車庫にかかる建設費が大きすぎないか。</p> <p>④ヘリポートの必要性。</p> <p>⑤壁面をガラスにしたときの冷暖房効果について。</p> <p>⑥太陽光発電について。</p> <p>⑦什器・備品などオフィス環境の整備に中古市場も考慮に入れてはどうか。</p> <p>2. 産業について</p> <p>(1) インターネット上における燕市独自のショッピングモールの開設について 地域ブランド、また、TVやインターネットを通じた通信情報でのショッピングの時代、燕市ほど完成品を持ったまちはないと思う。商工会議所や農協、また、個々の事業所との関係もあると思うが、「燕市」という名前を前面に出したインターネット上のショッピングコーナーを作り、市内の多くの業者から製品の出品、出店の企画を市としてできないか。</p> <p>(2) 産業情報・企業紹介データの統一とその作成について 商工会議所、地場産センター等に燕市の企業紹介が載っているが、燕市商工観光部として全市全産業にわたる統一したデータの作成はどうか。</p> <p>(3) 商工観光部の存在感について ホームページ等を見ると、商工会議所や地場産センターと比べ存在感がない。アピールが足りないのか、それとも行政としては、今現在が産業に立ち入る限界なのか。</p> <p>3. 公共下水の負担金について</p> <p>(1) 燕地区面積割り、吉田分水地区戸別割りの不公平感について 今後燕市においては、公共下水が郊外に向かい、面積の大きい住宅や工場が対象となってくる同じ一軒なのに、高額の受益者負担金がかかってくる。一市の中の二制度による不公平感の解消は考えているか。 また、大きな面積の場合排水柵の数に制限や、規定はあるのか。</p> <p>(2) 増設や分割時における負担金の基準は 土地を分割した場合など、新たに排水のマスを増設した場合、追加の負担金はどうなっているか。また、そのチェック体制はどうなっているのか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
17	中山 真 二	<p>4. 幼保について</p> <p>(1) 幼稚園の統合、また、こども園の構想は現時点ではどうなっているか。</p> <p>(2) 子ども手当に関連して、国や県の幼稚園、保育園の考え方、また、施設の充実に関する補助金等の考え方に変更はないか。</p> <p>(3) 南幼稚園の今後についての計画の進み具合はどうなっているか。</p>
18	中 島 義 和	<p>1. 学校給食について</p> <p>(1) 食育面から学校田の取り組みを、まちづくり協議会と連携のもと広げてはと以前提言したが、各学校区の取り組み状況と、そこから生産された農産物はどう活用されているか。</p> <p>(2) 燕市教育ビジョン検討委員会から、吉田、分水給食センターを一つにまとめ、新しい施設を建設し公設民営の答申が出されている。パブリックコメントの回答はどのようになっているか。</p> <p>① 小林前市長、現在市の財政状況、社会全体の経済情勢の急変の中、当分の間は現行のまま3地区での配食継続と述べておられる。施設、機器の老朽化が進む中、大丈夫か。</p> <p>② 吉田小学校敷地内にある現給食センターは、これから始まる学校現地改築工事に支障はないのか。</p> <p>③ 吉田粟生津地内に合併前に求めた土地 16,508 m²の内、9,900 m²利用し、現在 6,600 m²が未利用地である。まちづくり協議会等から、利活用について提案など上がっていないか。公園予定地の声が聞こえてくるが。</p> <p>2. 障がい者の就労支援を</p> <p>(1) 地方公共団体に求められている障がい者雇用割合を燕市は満たしているか。燕市企業での障がい者の雇用実態をつかんでおられるか。</p> <p>(2) 食料自給率向上、米消費拡大の面から各地において米粉パン、米粉麺の普及拡大が起きている。燕市も地産地消、障がい者雇用面から検討しては。</p> <p>① 妙高市では、地域住民と障がい者が担うNPO法人を設立、障がい者の雇用確保と新規需要米の拡大を図るため [パン工房妙高] 設立</p> <p>② 学校給食に月1回パン供給。小、中学生 2,889名施設は週5日フル稼働</p> <p>(3) 燕市も障害者自立支援法のもと、働く意欲と能力のある障がい者が働く場作りを、行政福祉側から支援の手を差し伸べる、そんな合併燕市でありたい。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
19	大 岩 勉	<p><u>1. 市長選の公約と政治姿勢について</u></p> <p>(1) 産業の振興 産業政策のプロと共に、企業団体のアイデアを政策に変えて実現します。</p> <p>(2) 未来の燕を担う子どもたちの育成 夢に向かってチャレンジしていく子どもたちを応援します。</p> <p>(3) 行財政改革の推進 子どもたちにツケを回さないよう、財政の健全化に努めます。</p> <p>(4) 医療・福祉の充実 子どもから高齢者まで笑顔で暮らせるまちを目指します。 (以上の具体的内容をお聞きします。)</p> <p><u>2. 建設業界の現状と人口増を考えた住宅の取得に応援制度を考えたかどうか</u></p> <p>(1) 建設投資の縮小などにより、公共事業の大幅削減で業界は今まで以上にリストラや倒産が懸念され、先行きが全く見えない危機的状況であるが、把握されているか。</p> <p>(2) 子育て世代の初めての住宅取得や商店街の活性化のため、中心部での住宅取得を対象とした補助事業を考えたかどうか。</p> <p><u>3. 学校教育の現状と生徒の減少を考えた課題について</u></p> <p>(1) 文部科学省は公立小中学校1学級当たりの児童生徒数の上限を40人としてきた学級編成標準について、2011年度以降引き下げて少数学級化を促す考えを示したが、燕市もその方向なのか。</p> <p>(2) 小学校入学からの約1カ月間、1年生を生年月日順の仮学級に分け、5月にあらためて通常の学級に編成し直す取り組みが上越市内の2校で行われているが、新入生がスムーズに学校生活に入るためには、燕市でも導入したらどうか。</p> <p>(3) 燕北地区の小中学校で他地区の学校に入学する児童が増えていることを聞く。松長小学校区から他小学校に通学している児童の数と、北中学校区から他中学校に通学している児童数をお聞きする。</p> <p><u>4. 産業史料館をもっと前に出すために、構内に燕の背脂ラーメン店を誘致したらどうか</u></p> <p>(1) J Cなどの若者が「燕三条ラーメン」のPR活動をしています。県外からのお客さんも増えています。産業史料館の入館者増も考えて、構内を活用したらどうか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
20	渡 邊 正 明	<p>1. 高齢者の安心・安全対策について</p> <p>(1) 市営住宅に対して、火災報知器の設置は進んでいるが、高齢者世帯だけの所は進んでいない。助成は考えられないか。</p> <p>(2) 地デジ放送開始も迫ってきている。対応できないでいる高齢者に対して、市独自の補助を考えているか。</p> <p>2. 環境問題について</p> <p>(1) ごみゼロに挑む町田市の取り組みを参考に検討してみたらどうか。</p> <p>(2) 生ごみ処理センターの稼働率はどう推移しているか。</p> <p>(3) 電動生ごみ処理機の無償貸与を考えてみたらどうか。</p> <p>(4) 燃やさず・埋め立てないごみ処理。夢に向かって立ち上がる決意を伺いたい。</p>
21	タナカ・キン	<p>1. 教育問題について</p> <p>(1) 分水地区には図書館がなく、公民館内に図書室があるだけである。したがって図書館にあるはずの学習室がない。公民館内の研修室を学習室に活用できないか。</p> <p>2. 燕市文化会館について</p> <p>(1) 展示ギャラリーが出来て1年経ったが、未だに大ホールと展示ギャラリーを仕切る工夫がなされていない。りゅーとぴあにあるような可動式の仕切りが必要ではないか。</p> <p>3. 燕・吉田・分水公民館に設置されたテレビの活用について</p> <p>(1) この春、それぞれの公民館に50インチのテレビが設置されました。このテレビを産業史料館、分水良寛史料館、長善館史料館などで行われる展示会の宣伝に使ってはどうか。</p> <p>4. えちご燕物産館について</p> <p>(1) 2号店になる町田店は好調のようだが、両国店は売上げの数字を見る限り苦戦しているようである。もっと品物が売れる場所に移転できないものか。</p> <p>5. 道路整備について</p> <p>(1) 289号線から斎場やゴミ処理場へ向かう道路であるが、年間にゴミ収集車が約27,000台、業者の搬入が約3,000台、そして斎場の利用も考えると、信号のない場所からの出入りはとても危険である。信号機があるメタルセンター工業団地看板のある交差点から斎場の方へ道路を改良すれば、どれだけ便利になるかわからない。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
21	タナカ・キン	<p>6. 公園整備について</p> <p>(1) 交通公園横の大型駐車場に仮設でもよいからトイレは設置できないか。</p> <p>(2) 秋葉町3丁目公園は公園とは名ばかりでまるで庭のようである。地域住民は子どもたちが入れる公園にしてほしいと願っているが。</p> <p>7. 吉田ふれあい広場について</p> <p>(1) サッカーの練習や試合がしたいが、広場に置かれているゴールは市の所有でなく、サッカー協会のものだという。市民がサッカーを楽しめるような工夫が必要だが。</p> <p>(2) 管理棟を「こどもの森」のような施設にできないものか。</p> <p>8. 職員の人事について</p> <p>(1) 部・課長に昇級する際、昇級試験を導入できないか。</p> <p>(2) 部・課長に昇級する職員が1度もその課の仕事をしたことが無いという人事が平気で行われている。一般質問において再質問に答弁できないような人事は改めていく必要があると思うが。</p> <p>9. 公職選挙法について</p> <p>(1) 7月には参院選が、10月には市議選が行われる。選挙の度に西蒲選挙などと言われるようでは恥ずかしい限りである。私たちはもちろんだが、新人の候補者や有権者に対し、広報を使い公職選挙法についての啓発をしてはどうか。</p> <p>10. 新庁舎について</p> <p>(1) 新市長は、設計については無駄を省いて事業費を削ると言っているが、言葉だけの説明ではよくわからない。建物の配置を変える。水盤をなくす。広場をなくす。ガラス張りをやめる。玄関口を変えるなど、いろんなプランを提示し、それぞれの建築費も提示してもらいたい。</p> <p>11. 地籍測量訂正請求事件について</p> <p>(1) 現在、市が被告になり新潟地方裁判所で争われています。1回目のとき、裁判官が「こんなの市に言って直してもらいなさい」と言ったそうです。市側の非は明白なのだから、まず、すぐに訂正する方が正しいと思うが。長引けば長引くほど税金の無駄遣いと言われてしまう。</p> <p>12. 吉田95号線について</p> <p>(1) 無駄な道路をつくるより、この場所で神田保育園を改築したり、お年寄りの施設をつくったりしたほうがより有意義と思えるが。</p> <p>13. 吉田日之出町で起こった死亡事故について</p> <p>(1) 調査の結果は。市の責任は無かったのか。</p>